

=====
統計メールニュースNo.1121(2019.3.20)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====
【本日の公表データ】

■統計トピックス No.116『若者の就業状況－4月の就職時期にちなんで－』を公表しました。

就業構造基本調査は、国民の就業及び不就業の実態を把握するため、昭和31年(1956年)から実施しており、平成29年(2017年)就業構造基本調査は、全国の約52万世帯(15歳以上の世帯員約108万人)を対象に、2017年10月1日現在で実施しました。

本トピックスでは、多くの学生が学校を卒業し就職する4月の「就職時期」にちなんで、若者の就業状況や産業、職業の動向を紹介します。

【週間就業時間】

○週間就業時間は全体的に縮小傾向で、最も短い「42時間以下」は2007年と比べ8.1ポイント上昇

【有業率】

○25～29歳の女性は、この20年間で17.8ポイントの大幅な上昇

【正規の職員・従業員の割合】

○男性の「正規の職員・従業員」の割合がこの20年間で初めて上昇に転じる

【産業・職業別の割合】

○2007年と比べ、男女ともに「医療、福祉」で最も上昇、「卸売業、小売業」で最も低下

○2007年と比べ、男女ともに「専門的・技術的職業従事者」で最も上昇、男性は「生産工程従事者」で最も低下

<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/topics/topi1160.html>

=====
調査へのご理解・ご協力をお願いします。

－みんなの暮らしを支える統計調査－ (広報動画)

https://www.youtube.com/watch?v=vQ3BtX_D4bs

=====
配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関するQ&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

=====
このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp